

“旅心で巡る掛川36景 掛川検定 第2回設問”の解答

1. 「東海の名城」と謳われた掛川城。敵から城を守るために井戸から霧が立ち昇ったという「霧噴き井戸」伝説が残っています。その井戸はどこにあるでしょうか。
- A. 本丸 B. 天守台 C. 三の丸 D. 竹の丸

☆室町時代、駿河の守護大名今川氏が遠江進出を狙い、家臣の朝比奈氏に命じて築城させたのが掛川城のはじまりです。戦国時代には、山内一豊が城主として10年間在城しました。働き盛りの一豊は大規模な城郭修築を行い、天守閣、大手門を建設するとともに、城下町の整備や大井川の治水工事などに力を注ぎました。霧噴き井戸の伝説は、西から徳川家康、東から武田信玄に攻められた駿河の今川氏真が、重臣朝比奈泰朝の掛川城へ逃げ込み、この城を落とそうと家康が攻撃を仕掛けた際、井戸から立ちこめた霧が城をすっぽりと覆い隠し、徳川軍は攻撃できなくなったといわれます。以来、掛川城は、「雲霧城」とも呼ばれるようになりました。

-
2. 掛川城の東にある(社)大日本報徳社内には、めずらしい大人の二宮尊徳像がありますが、手には何を持っているのでしょうか。
- A. 本 B. 籠 C. 鍬(くわ) D. 額

☆(社)大日本報徳社は、江戸末期の農村復興に一生を捧げた二宮尊徳の弟子である岡田佐平治が設立した「遠江国報徳社」を起源としており、二宮尊徳の報徳思想の普及活動を行っています。平成19年12月末に修復が終わった静岡県指定文化財の大講堂は、明治36年に建設された国内最初の公会堂で、外観は純和風の作りながら、内部の窓には洋風のデザインが取り入れられるなど、独自の工夫がなされています。鍬をもった二宮尊徳像は、当時、お百姓さんのやる気を育てるために、尊徳が鍬を賞品として渡していたことをあらわしたものです。村の中で一生懸命働いた人を村人達に投票してもらい、賞品を渡していました。尊徳の言葉に「心田開発」という言葉がありますが、これは「心の荒れ果てた田んぼを耕して村を立て直す」という意味で、お百姓さんを褒めてやる気を出させようとしたのでした。

-
3. “一目瞭然ガラス張り”の市庁舎には、清潔透明度第一の花道として通称「健康100段」と呼ばれている直線階段があります。この階段、実際には何段あるでしょうか。
- A. 96段 B. 98段 C. 102段 D. 108段

☆現在の掛川市庁舎は、平成8年5月に落成しました。生涯学習のふれあいの場が多く、一目でわかりやすい一体感の演出がされています。そのため2階、3階、4階に生涯学習テラスと名付けられ、市民と市民、あるいは市民と職員が大きなアトリウムと縁側廊下と直線階段を介してふれあい、まちづくり・人づくりの知恵が集結できるよう図られています。また、美しい樹林の中の市庁舎となるように、10m以

上の大木 50 本を含む 40,000 本を敷地内に植栽して、西側の森には椎、檜、コナラなど 11 種類 320 本の自然植生の「思惟の森」を保存し、自然生態系との調和に努められています。直線階段は、木製で、庁舎全体に木のぬくもりをかもし出しています。

-
-
4. 掛川には将門とその一党合わせて十九の首級(しゅきゅう)を葬った十九首塚があります。十九の石塔すべてに5つの文字が刻まれています。上から2つ目の文字は何でしょうか。

A. 水

B. 火

C. 風

D. 空

☆平将門は、藤原秀郷らにより征討されましたが、秀郷が将門をはじめ家臣 19 人の首を持って京に上る途中掛川の宿まで来ました。一方京からは検視の勅使が派遣され現在の十九首(じゅうくしゅ)区で検視を受けました。首実検の後、秀郷は「将門は逆臣なりども、名門の出である。その罪重しといえども、今や滅びて亡し。その屍にむち打つは礼に非ず」と 19 の首を別々に埋葬し、懇ろに供養したと伝えられています。地名の由来も 19 の首塚があったところから十九首と呼ぶようになりました。区民は、首塚を町の守り神として春秋 2 季の彼岸と命日には供養を行い今日まで続いています。また、十九首塚は、五輪塔と呼ばれる石塔です。五輪塔は、上から空風輪、火輪、水輪、地輪に分けられ、一般的にはそれぞれの部分に梵字が刻まれています。

-
-
5. 掛川市倉真から松葉地域に向かって進むと松葉神社があります。この神社の大きな特徴とは何でしょうか。

A. 鳥居が巨大

B. お社が石製

C. 賽銭箱が無い

D. 階段がない

☆松葉神社から約 5km の場所にある松葉の滝は、雌雄 2 つの滝があり、優美な雌滝と迫力ある水の音とともに勇壮に流れ落ちる雄滝が楽しめます。

-
-
6. 市内西部の原川には旧東海道の松並木が残っていますが、善光寺橋から金西寺(間の宿原川)までの間に現在松は約何本あるでしょうか。

A. 60本

B. 80本

C. 100本

D. 120本

☆江戸時代に整備された東海道には、旅人の暑さ寒さをしのぐため、松並木が整備されていました。また、一里(約 4km)ごとに一里塚が設置されていました。この約 300m の岡津・原川間の松並木は、地元の皆さんにより大切に保存・整備され、道の両脇に松がきれいに植えられており、当時を偲ぶことができます。

7. 横須賀城跡の石垣は、他の城とは違う独特の特徴をもっていますが、その特徴とは何でしょうか。

A. レンガ

B. 軽石

C. 丸い石積み

D. 花崗岩

☆横須賀城は、天正6年(1578年)、徳川家康が家臣の大須賀康高に命じて、高天神城攻略のために築かせました。その後280余年に渡り横須賀藩の中心でしたが、明治維新とともに廃城となり、横須賀城の建物などは、1873年全てが解体され払い下げられました。横須賀城は、山城と平城を合わせもっているため平山城と言われ、山城から平城に移る中間期の特徴を備え、中世城郭と近世城郭の2つを合わせ持っています。また、普通1つしかない大手門が、この横須賀城には東西にあり「両頭の城」といわれたほか、「玉石積み」とよばれる丸い河原石を用いた石垣も特徴です。残された城跡は現在国の指定文化財として整備が進められています。

8. 安全祈願のために履き替えた沓(くつ)を木に掛けた「旧東海道沓掛の坂」は急でカーブも多いのですが、180度近くあるヘアピンカーブは、日坂宿方面から入って日乃坂神社入り口の三叉路から次の三叉路の間にいくつあるでしょうか。

A. 1

B. 2

C. 5

D. 7

☆旧東海道にある各地の急な坂には、安全祈願をした掛川の沓掛坂と同じような名称の坂があります。昔は、急な坂では、坂であること以外に盗賊に襲われる危険などがあつたことから、この様に旅の無事を願いました。

9. 東京女子医科大学を創立した吉岡彌生の生家・鷲山家は、移築されて吉岡彌生記念館に併設されています。その生家がもともとあつた場所には、現在何があるでしょうか。

A. 小学校

B. 医院

C. 交番

D. 郵便局

☆吉岡彌生記念館は、吉岡彌生の顕彰と市民の健康維持・増進に寄与することを目的として、平成10年11月26日に開館し、平成20年に10周年を迎えました。1階に「吉岡彌生記念展示ゾーン」、「看護とケアの展示ゾーン」、2階にレクチャールームがあり、特別展や健康セミナーなどが行われています。背景地には、吉岡彌生の生家である鷲山病院の住居、長屋間、蔵が移築・復元され、明治時代の生活や地域医療の様子を偲ぶことができます。設問の鷲山病院は、吉岡彌生のご親族が経営されています。

10. 原泉地区にある孕石天神社は子宝祈願で知られていますが、その神社のご神体は何でしょうか。

A. 樹

B. 鏡

C. 杯

D. 石

☆孕石天神社の社殿の土台はさざれ石の大岩盤で、大小さまざまな卵形の礫を含むので、孕石と呼ばれています。社殿に「天満宮」の江戸時代に書かれた偏額がかかっています。鞘堂の内部に寛政年間(1789年～1801年)に造られた豪華な屋根の本殿があり、子授けの靈験があらたかで、祈願して玉石をいただき、子宝に恵まれればお礼参りに石をお返しします。

11. 資生堂アートハウスの庭園には、いろいろな現代美術作品が展示されていますが、この写真にある「イワタルリ」の作品に使われている素材はなんですか。

- A. ガラスとコンクリート B. ガラスとアルミ
C. ガラスとスチール D. プラスチックとアルミ

☆イワタルリは、岩田藤七、岩田久利という日本のガラス工芸を語るうえで欠かすことのできない名匠ふたりを、祖父と父にもちます(共に故人)。岩田家は、ガラスに竿で空気を吹き込みながらかたちをつくる「宙吹き」がお家芸でしたが、イワタは型にガラスを流し込んで鑄造する極めてストイックな方法で制作を続けてきました。それによって、イワタ本人が「素のガラス」と呼ぶ、大地から掘り起こされたような、ダイナミックガラスの表情が引き出されています。設問の作品は『2W050319D』2005年の資生堂椿会出品作品です。

12. 横須賀・新屋町の公会堂(稽古場)は特徴のある外観をそのままに建て直されましたが、元の建物は何に使われていたのでしょうか。

- A. 学校 B. 役場 C. 病院 D. 郵便局

☆明治32年、古い民家を大須賀村の役場として使用していましたが、明治40年、現在の新屋町の公会堂は、当時の大須賀村役場庁舎として建てられました。大正3年5月1日に大須賀村から横須賀町に変わり、横須賀町役場として昭和8年まで使用され、以後公会堂(稽古場)となりました。現在は、旧稽古場の姿をそのままに新築され、横須賀町役場当時の電話室の扉は、稽古場の書庫の扉として利用されています。

13. オランダ通商使節のゲイスベルト・ヘンミイは、1798年に江戸で徳川第11代将軍の家斉に拝謁。長崎への帰路、掛川で病に倒れ、天然寺に葬られています。このとき、ヘンミイは何歳だったのでしょうか。

- A. 35歳 B. 42歳 C. 51歳 D. 60歳

☆ゲイスベルト・ヘンミイは、旧オランダ東インド会社商館長で、墓石は、かまぼこ形をしており、当時のオランダ人墓の意匠を現在に伝えています。この形をした墓石は、国内には長崎市悟真寺に存在するが他に例はなく、大変貴重なものです。墓石の表面にオランダ語による碑文が記されており、玉石垣積みした台座の上に静座し、石製の柵により守られています。

-
-
14. 横須賀城の不浄門を移設したと伝えられている「撰要寺（せんようじ）」の門、その門についているお殿様ゆかりの御紋は何でしょうか。

A. 三つ葉葵 B. 立ち葵 C. 源氏車 D. 櫛松

☆天正 9 年(1581 年)初代横須賀城主の大須賀康高が建立した撰要寺は、歴代の横須賀城主の菩提寺です。本堂前に康高・忠政父子の巨大な宝篋院塔と裏山の墓地には城主・家臣などのお墓や供養塔があり、墓塔群は、静岡県指定文化財になっています。立ち葵は、城主の本多家の家紋に用いられていました。

-
-
15. 「ナギ」と「イヌマキ」でできた自然山門が静岡県指定の天然記念物となっている本勝寺。別名「あじさい寺」の境内には七福神の石像がありますが、弁財天と寿老人の間にたっている神様は〇〇です。

A. 恵比寿天 B. 布袋尊 C. 福祿寿天 D. 大黒天

☆常緑の山門は、当時の住職が「草木一切悉有仏性」というお釈迦様の言葉を具現して参道に山門として木を植えたものです。縁結び・安産にご利益があるとされています。境内には8,000本余の紫陽花が植わり、初夏には美しく咲き誇ります。境内の七福神は、入口より、恵比寿天、大黒天、毘沙門天、弁財天、福祿寿天、寿老人、布袋尊の順番で並んでいます。

-
-
16. 「思いのままに願い事が叶う」神社として信仰されている事任(ことのまま)八幡宮。本宮遥拝所(ようはいじょ)の上手には、子宝・縁結びの小さな祠(ほこら)がひっそりとあります。この祠は、一對の〇〇の狛犬に守られています。

A. 木彫 B. 石製 C. 陶器 D. 墨絵

☆事任八幡宮は、清少納言の「枕草子」にも名前が記され、「祈るがままにその願いが成就するという、ことのままの神が東海に祀られている」と千年ほど前の時代に都まで聞こえていたことがわかります。御神木の杉は、坂上田村麻呂が植樹したと伝えられ、掛川市の天然記念物に指定されています。例大祭は、秋に行われます。

-
-
17. 掛川市土方地区には大地の隆起や侵食によってできた「こんもり小山」が点在しています。国民文化祭でもトレッキングコースとして使われるこの「こんもり小山」は今地元の人たちから何と呼ばれているのでしょうか。

A. ポコポコ B. ポッコリ山 C. モコモコ D. やんまあ

☆大東土方地区は、隆起したであろう「山」とも「丘」とも違う「こんもり小山＝モコモコ」が象徴的地形をつくっています。付近の小笠山一帯は昔の大井川のデルタ地帯が隆起したといわれており、この地層を小笠層群といい、川原にある丸い小石

が層になって形成されています。そのため、モコモコをはじめとする山のとっぺんでも石は丸い形をしています。

18. JR掛川駅の南口と、構内及び、北口から掛川城までの駅前通りの「掛川アートプロムナード」には、何体のブロンズ像があるでしょうか。

A. 3体

B. 5体

C. 7体

D. 9体

☆掛川は、古くから掛川城を中心に発展してきた街です。掛川駅の北に広がるお城のある街を「歴史のゆたかな街」として、また駅南を「新しく創られていく街」としてイメージして、駅を中心に南北の融合と発展を目指そうと様々な工夫がされています。そのひとつが、お城をはじめ駅周辺や街なかに設置されているモニュメントやブロンズ像などの美術品です。ブロンズ像は、駅の北側の「たかいたかい」「陽春」「仰」「二宮金次郎」「暁光」の5体と南側の「若い女」「脱皮」の2体で、合わせて7体あります。モニュメントは、「玄」「合体」「阿吽^{あうん}」があります。また、駅南口駅舎外壁と床面に、ミラーやラスタータイル（彩色タイル）・セラミックタイル（陶板）を用いたり、駅前交番の童話風のデザイン、南口駅舎を宇宇新とした東西290mのコンクリート擁壁が、大井川から小夜の中山を経て、天竜川にいたるまでが表現されていたり、ねむの木学園のこどもたちの作品も織り込まれているなどのデザインが施されています。